

令和4年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について－

区 名 東淀川区

学校名 大阪市立啓発小学校

学校長名 藤澤 淳

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和4年4月19日（火）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動をご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

(2) 質問紙調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・大阪市立啓発小学校では、第6学年54名

令和4年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

国語・算数ともに全国平均に届かず、その差がR3よりも広がった。
また、理科（R3：実施なし）も、全国平均には届かなかった。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕

「書くこと」の設問の正答率は、全国平均と比べてほとんど差がなかった。R3から大きく上昇した。「新しい時代に必要となる資質・能力の育成のために言語力の向上を目指した基礎・基本の定着」を研究主題に取り上げ、学校全体で取り組んできた成果だと考える。だが、他の領域に関しては全国平均との差を広げている。とくに、「言葉の特徴や使い方に関する事項」の設問の正答率は、大幅に低下している。授業内容を工夫・改善することによる「主体的・対話的で深い学び」の実現、並びに、デジタル新聞を活用した読解力と学びに向かう力の育成をめざしたい。

〔算数〕

すべての領域において、全国平均との差が広がっている。習熟度別少人数指導やチーム・ティーチングなど、さらなる授業形態の工夫が必要である。複数教員によるきめ細やかな指導に粘り強く取り組んでいきたい。

〔理科〕

全国平均と比べて、「エネルギー」領域・「地球」領域において、差が大きかった。理解が深まるよう意識して指導したい。

質問紙調査より

「国語（算数・理科）の勉強は好きですか」の質問に対する肯定的回答率が低くなっている。タブレットPCや大型モニターなどのICT機器を日常的に活用しながら、さらなる授業展開の工夫が必要である。一方、「将来の夢や目標を持っていますか」の質問に対して肯定的に回答した児童の割合が高かったのは、本校が長年にわたって取り組んできた「生き方教育」の成果だと考える。

また、朝食をきちんととする習慣、決まった時刻の就寝、計画的な家庭学習など基本的な生活習慣が定着していない。今後も、状況の改善に向けて家庭との連携を図りながら、児童が自立するための手立てを工夫していきたい。

今後の取組(アクションプラン)

授業に対する肯定的回答率も低下しており、国語・算数ともに全国平均との差を広げている。また、「学校に行くのは楽しいと思いますか」の質問に対しての肯定的な回答率も低い。学習活動や指導法のさらなる工夫に取り組んでいきたい。

- ・ICT機器の利活用による、思考力の育成・向上、協働的な学びのある授業の工夫
- ・習熟度別少人数指導やチーム・ティーチングなど学習形態を工夫するなかでの基礎・基本の定着
- ・小中一貫校の特性を生かした、小中連携による専門性の高い授業の工夫
- ・反復練習や発展学習に自ら取り組める、タブレットPCの活用の工夫
- ・読解力の育成に向けた、読書活動のさらなる充実

【 全体の概要 】

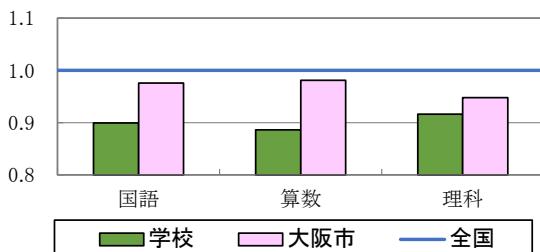
平均正答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	59.0	56.0	58.0
大阪市	64.0	62.0	60.0
全国	65.6	63.2	63.3

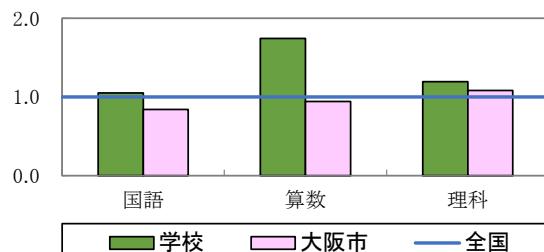
平均無解答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	6.0	6.1	4.3
大阪市	4.8	3.3	3.9
全国	5.7	3.5	3.6

平均正答率(対全国比)



平均無解答率(対全国比)



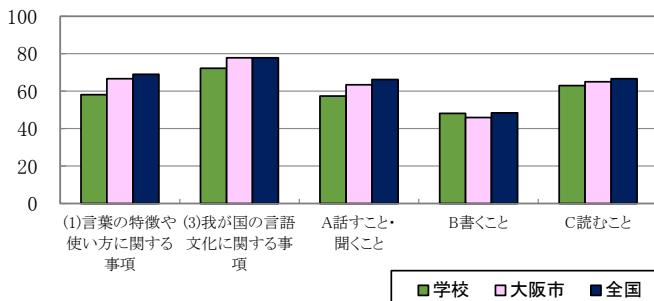
【 国 語 】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	5	58.1	66.7	69.0
(2)情報の扱い方にに関する事項	0			
(3)我が国の言語文化に関する事項	1	72.2	77.8	77.9
A 話すこと・聞くこと	2	57.4	63.4	66.2
B 書くこと	2	48.1	46.0	48.5
C 読むこと	4	63.0	65.0	66.6

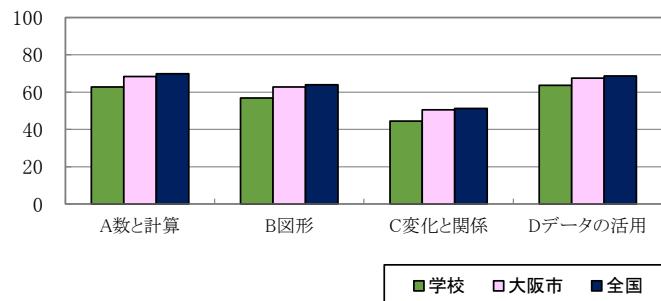
【 算 数 】

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	6	62.7	68.4	69.8
B 図形	4	56.9	62.8	64.0
C 測定	0			
C 変化と関係	4	44.4	50.5	51.3
D データの活用	3	63.6	67.5	68.7

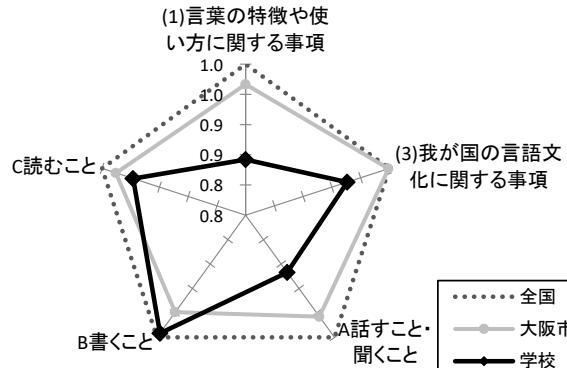
国語 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



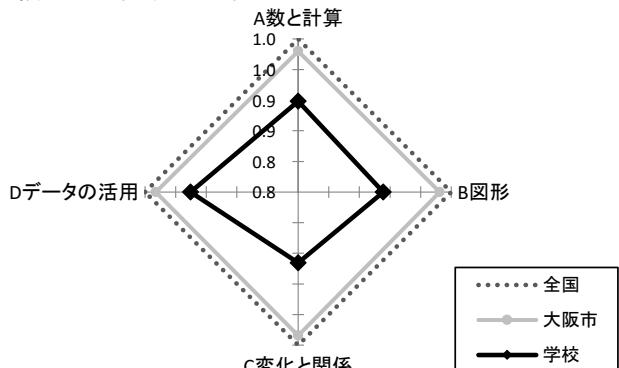
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語 領域別正答率(対全国比)

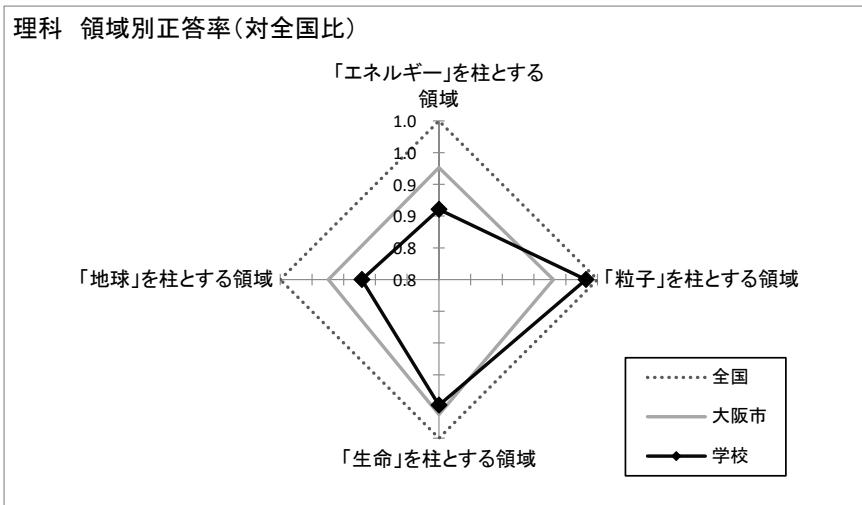
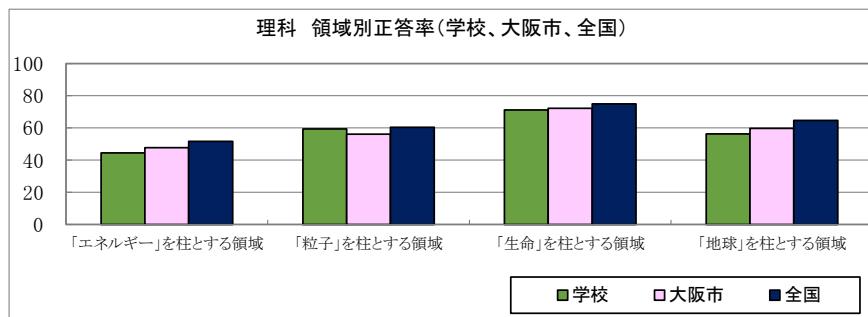


算数 領域別正答率(対全国比)



【 理科 】

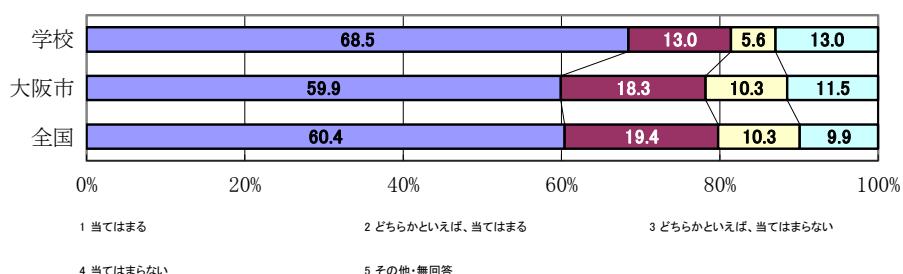
学習指導要領 の区分・領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)			
		学校	大阪市	全国	
A 区 分	「エネルギー」を 柱とする領域	4	44.4	47.8	51.6
	「粒子」を 柱とする領域	5	59.3	56.2	60.4
B 区 分	「生命」を 柱とする領域	5	71.1	72.2	75.0
	「地球」を 柱とする領域	5	56.3	59.7	64.6



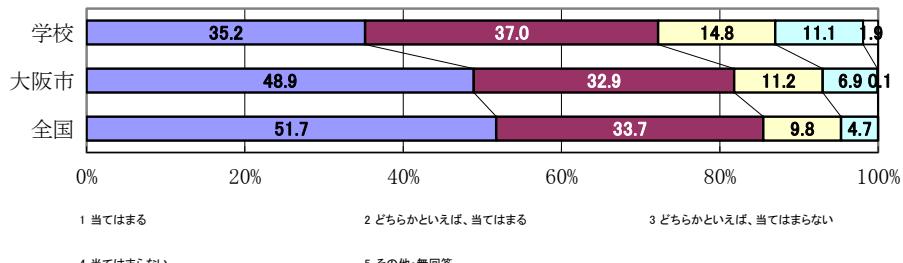
児童質問紙より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

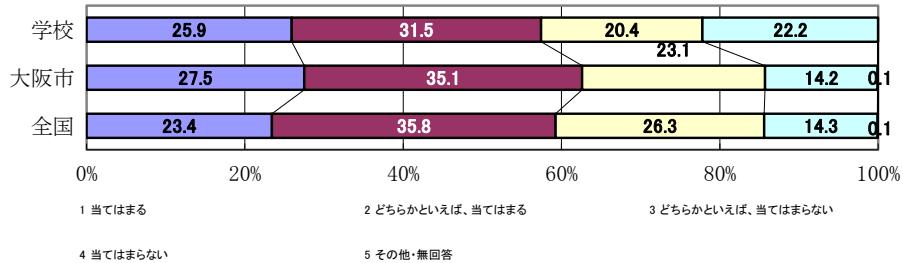
質問番号
質問事項
9
将来の夢や目標を持っていますか



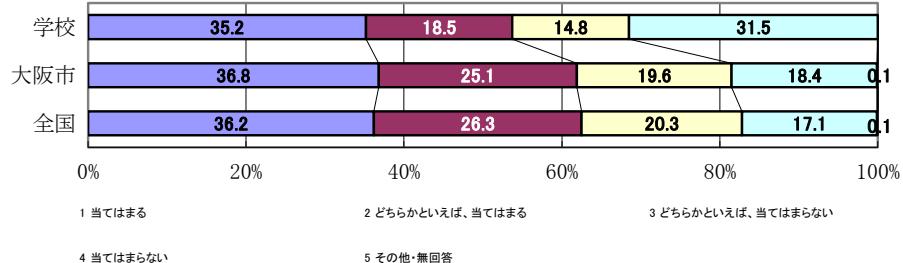
16
学校に行くのは楽しいと思いませんか



49
国語の勉強は好きですか



53
算数の勉強は好きですか



61
理科の勉強は好きですか

